

## 平成27年度 向山ブルースカイ 事業計画

事業所名	向山ブルースカイ
施設長名	田中幸子
実施事業	就労継続支援B型
開設年月日	平成3年4月1日
所在地	鳥取県倉吉市和田東町向山914-58の2
正規職員数	2名
臨時職員数	6名
パート職員数	0名
定員	20名
職員配置	施設長（兼務）1名、サービス管理責任者 1名 生活支援員 1名、職業指導員 6名

### 1 基本方針

障がい者の自立・社会経済活動への参加を基本に、信頼される事業所運営に努め、ご利用者様の個別支援計画に沿った良質な福祉サービスを提供するとともに、情報公開に努め、ご利用者様の個別処遇の向上、プライバシー保護及び職員の資質向上等に配慮しながら、ご家族様・地域とのつながり、交流の場として、事業所が適切な役割を果たします。

### 2 運営方針

ご利用者様本位の充実した福祉サービスを提供し、地域の皆様に親しまれ地域に根付いた施設運営を目指し、生産活動・就労活動を中心に発展・躍進していきます。

また、菓子工房「トリシエ」の新商品開発はもとより商品製造の増産体制、販路拡大を図り、ご利用者様の工賃アップを図るよう努めます。

(1) 規則正しい日課の中で、個人個人を尊重し、ご利用者様のニーズに応えた支援を行います。

①個別支援計画を充実します。

②個別支援計画を基に、モニタリング等により随時支援計画を見直します。

③ご利用者様の新しいニーズの把握に努めます。

(2) 就労継続支援として、ご利用者様の意思を尊重し、個々の希望・能力に応じて、全てのご利用者様が従事できる作業内容を整え、働きやすい作業環境や条件の整備を図り、一般就労、自立へとつながる支援を行います。

①受託事業の就労の機会の提供

・電子部品組立、紙器加工、割箸加工等の受託作業により、就労の機会を提供します。

・良品作成、納期の厳守をし、作業量を増量します。

・受託作業の新規開拓をします。

## ②自主事業の生産活動の機会の提供

- ・自主製品（菓子工房トリシェ）の製造体制を整え増産します。
- ・専門職員を配置し、新商品開発及び販路開拓体制を充実させ、1ヶ月50万円の売上を目指します。
- ・自主製品のPR活動（HP・ブログ等）の展開を充実します。
- ・受託販売・イベント等に積極的に参加し、販路拡大に努めます。

## ③ご利用者様の自立した日常生活、社会参加への支援

- ・平均工賃が20,000円以上の目標達成に向けた取り組みを行い、ご利用者様の働く意欲、安定した生活が図れるよう支援します。
- ・施設利用者人数が平均25名を目指します。

## ④ご利用者様の一般就労への支援

- ・障がい者就労・地域生活支援センター、障がい者職業センター、ハローワーク、関係機関、企業等と連携し、就労支援します。

(3) ご利用者様のプライバシーや自由を尊重し、自分に自信を持ち、必要なサービスを活用できる支援を行います。

(4) 行事等を取り入れ、施設を利用して楽しい、楽しかったと思える支援を行います。

(5) 安心して生活できる、仕事ができる施設を目指します。

①会話・意見交換会を増やし、明るい施設づくりに努めます。

②施設の安心・安全を追求していきます。

- ・リスクマネジメントや個人情報をはじめとする情報セキュリティ対策に努め、ご利用者様の権利擁護を推進します。
- ・職員の処遇・接遇の向上を図ると共に、コミュニケーション能力を高めます。
- ・虐待防止や人権に対する知識を全職員に徹底します。

## 3 主な実施事業

### (1) 施設整備計画

敷地舗装整備 230千円

### (2) 事業活動

①運動会、作品展等の行事を行い、ご利用者様の元気な姿、活動を地域の皆様に見ていただき、地域との交流により理解を深めていきます。

②社会見学研修旅行を通して社会見聞を広めるとともに、ご利用者様・ご家族様と職員の親睦を図り、意向確認を行い支援サービスの向上に努めます。

## 4 安全管理・衛生管理

(1) ご利用者様が安心且つ安全に生活していただけるよう、ヒヤリハットやアクシデントの報告をもとに検証を行い、その結果を踏まえ、事故防止に努めます。また設備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具のメンテナンス等環境整備に努めます。

(2) 感染症予防（新型インフルエンザ・ノロウイルス感染症）に向け衛生管理と衛生

教育の徹底を図ります。

- (3) ご利用者様の健康管理は、毎月2回嘱託医による健康相談と年2回定期健康診断・検便を行います。
- (4) 職員健康管理は、年1回定期健康診断と検便を行います。
- (5) 事故防止に努め、安全面に配慮します。
  - ①送迎時の事故防止に努めます。
  - ②施設内、周辺の見廻りを徹底し、事故防止に努めます。

## 5 防火・防災・救助活動

防災対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。

- (1) 防火管理者が、ご利用者様の実態に即した防災訓練、地震想定・消火訓練（最低年2回）を実施します。
- (2) 防災活動への参加、地域防災情報の把握等、有事に迅速な対応ができる環境整備を行い、ご利用者様の安全の確保を図ります。

災害時の食品及び資材の備蓄・・・ご飯・パンの缶詰・清涼飲料水・懐中電灯  
携帯ラジオ・救急箱・クーラーボックス等

## 6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。

- (1) 外部研修・発表会への参加
  - ①就労支援専門職研修会の参加を通じ、就労支援技術の習得を目指します。
    - ・鳥取県社会就労センター協議会への参加
    - ・鳥取県身体障害者福祉施設協議会への参加
    - ・鳥取県就労事業振興センター協議会への参加
  - ②商品開発、販売研修会の参加を通じ、モチベーションアップや自己研鑽を促し、情報収集等による先進的な技術の習得に努めます。
- (2) 法人内部研修への参加
  - ①障害者専門職研修会への参加を通じ、知識、技術の習得に努めます。
  - ②法人内の研修は、研修内容に応じた職員が参加し、施設の業務に活かします。
- (3) 施設内のOJT・職場研修の実施
  - ①全職員参加の施設内職員勉強会を通じ、スキルアップを図ります。
  - ②研修してきた事に関しては、伝達研修を行い今後の支援に活かせるよう、共通理解を図ります。
  - ③新採用職員など実務経験の少ない職員については、知識・技術・経験の高い職員により実務を通じた研修を行い、施設職員全体のレベルアップを図ります。
- (4) 職員の資格取得のための取り組み
  - ・社会福祉主事等の資格取得のための支援を行います。
  - ・サービス管理責任者（就労）資格取得のための研修会への参加を促します。

## 7 各種団体との連携と地域交流

- (1) 地域の行事に進んで参加します。
- (2) 地域、各種団体、保育園、学校等との交流を積極的に取り入れます。
- (3) 学校、特殊支援学校、ボランティア等の体験学習の受け入れを行います。

## 8 年間行事計画等

別紙のとおり